

原子力発電所の運転および建設状況等

平成 16 年 2 月 4 日現在

1. 運転または建設中の発電所

設備容量 運転中：13基 計 1128.5万kW 建設中：1基 計 28.0万kW

(県内で運転中の原子炉13基は全て定格熱出力一定運転導入済)

発電所名 項目		日本原子力発電(株) 敦賀発電所		関西電力(株) 美浜発電所			関西電力(株) 大飯発電所				関西電力(株) 高浜発電所				運転中 発電所 合計	核燃料サイクル 開発機構
		1号機	2号機	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機		高速増殖原型炉 もんじゅ
現 状		運転中	運転中	定期検査中	運転中	運転中	運転中	運転中	運転中	運転中	運転中	定期検査中	運転中			
平成 15 年度	時間稼働率(%)	79.5	82.4	94.1	79.3	86.0	78.9	100.0	100.0	84.0	100.0	72.4	85.3	83.6	86.6	性能試験中 (事故停止中)
	設備利用率(%)	79.3	83.6	96.0	78.4	87.6	78.6	101.4	101.8	85.4	104.4	74.8	88.6	86.2	88.8	
	発電電力量 (億kWh)	20.8	71.2	24.0	28.8	53.1	67.8	87.5	88.2	74.0	63.3	45.3	56.6	55.1	735.9	
運 開 後 累 計	時間稼働率(%)	68.9	82.7	53.5	62.3	76.1	65.3	72.6	89.1	85.9	67.5	68.3	85.0	85.2	70.6	
	設備利用率(%)	66.1	82.4	50.8	60.5	74.7	64.1	71.5	88.8	85.7	66.1	66.7	84.8	84.9	72.3	
	発電電力量 (億kWh)	700	1,420	502	836	1,470	1,641	1,779	1,114	975	1,399	1,363	1,231	1,208	15,856	

2. 運転を終了した発電所

発電所名 項目		核燃料サイクル開発機構
現 状		新型転換炉ふげん (16.5万kW)
稼働期間		S54.3.20 ~ H15.3.29
累 計	時間稼働率	63.8 % (発電停止日時まで)
	設備利用率	62.2 % (発電停止日時まで)
	発電電力量	216 億kWh

(注) 稼働率は平成 16 年 1 月末現在、
累計は営業運転開始以降。

$$\text{時間稼働率} = \frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100 (\%)$$

$$\text{設備利用率} = \frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100 (\%)$$

< 本件に関する問い合わせ先 >
 原子力安全対策課 (担当: 宮川)
 (県庁内線) 2353 (直通) 0776-20-0314
<http://www.atom.pref.fukui.jp/>

3. 各発電所の特記事項

(1) 運転中の発電所

敦賀発電所 1号機	B-原子炉再循環ポンプのメカニカルシールで機能低下が認められたため、H15.12.28 20:00 原子炉手動停止。調査の結果、微小な異物が混入しシール面に小さな傷がついたため、シール機能が低下したものと判明。対策として、当該ポンプのメカニカルシールを予備品に取り替えるとともに、念のためA,C号機についても同様に置き換えを実施。H16.1.2 10:00 原子炉起動、1.3 10:00 発電再開。 [12.26, 30 発表済]
美浜発電所 1号機	第20回定期検査 (H16.1.14～3月下旬) H16.1.14 1:00発電停止。
高浜発電所 3号機	第15回定期検査 (H15.12.18～未定) H15.12.18 1:00発電停止。 蒸気発生器伝熱管全数について、検査精度を向上させたマルチコイル型渦流探傷検査(ECT)を行った結果、伝熱管311本のUベント部に判定基準をわずかに超える信号指示を確認。指示は平成3年まで旧振止め金具が取付けられていた位置における伝熱管外表面の減肉指示であり、進展性のないことを確認。対策として当該伝熱管全数の施栓を行う。これに伴い定検終了時期は当初予定の3月中旬から延長となる見込み。 [1.23 発表済]

(2) 建設中・性能試験中の発電所

高速増殖原型炉もんじゅ	H7.12.8 中間熱交換器(C)二次系出口配管からのナトリウム漏えいに伴い、原子炉手動停止。 平成15年度設備点検 (H15.5.6～H16.3月中旬予定) 機器冷却系電磁ポンプ冷却ユニットの分解点検について、他の作業工程や現場の作業条件を調整した結果、作業工程を見直す必要が生じたため、設備点検終了時期を当初予定の平成16年1月末から3月中旬に変更。
-------------	---

(3) 運転を終了した発電所

新型転換炉ふげん発電所	第18回定期検査 (H15.6.27～H16.3月末)
-------------	-----------------------------